

No.68 看護職の離職率減少に向けた取り組みについて



P（PLAN：課題設定）

- ・看護職員の退職率3%未満を目標として、全部署で離職防止に向けた取組を実施することとしました
- ・院内留学制度を活用した人材育成を推進し、キャリア形成支援の充実を図ることを課題としました

D（DO：実施）

- ・看護職員のキャリア支援の一環として、他部署への院内留学を実施しました
- ・教育担当者を中心に、社会人基礎力の評価を実施し、人材育成に活用しました
- ・附属病院と内丸メディカルセンターの統合に際しては、内丸メディカルセンターから異動した看護職員全員を希望部署へ配置しました
- ・メンタル不調の看護職員に対しては、看護部、人事職員課および健康管理センターが連携し、月1回の情報共有および支援を実施しました
- ・ワークエンゲージメント向上を目的として、年次有給休暇取得日数の目標を20日以上に設定し、取得促進に取り組みました

C（CHECK：評価）

- ・看護職員のキャリア支援につながる取組として、他部署との院内留学を全体で161件実施しました
- ・2025年度の看護職員全体の退職率は7.8%であり、新卒看護師の退職率は5.5%でした
- ・一方、中途退職率は3.0%であり、目標水準を維持しました

A（ACT：改善方針）

- ・職員の適性や希望を踏まえた配置転換を推進し、より適切な人員配置に取り組んでまいります
- ・看護師1人当たりの夜勤時間数が平均72時間を超えない配置を推進し、安心して働き続けられる職場環境の整備を図ってまいります
- ・夜勤可能な看護師の確保に向け、人事職員課と連携した採用・配置体制の強化を進めてまいります
- ・社会人基礎力の評価を看護部の重点目標として継続し、看護職員の能力向上と人材育成を推進してまいります